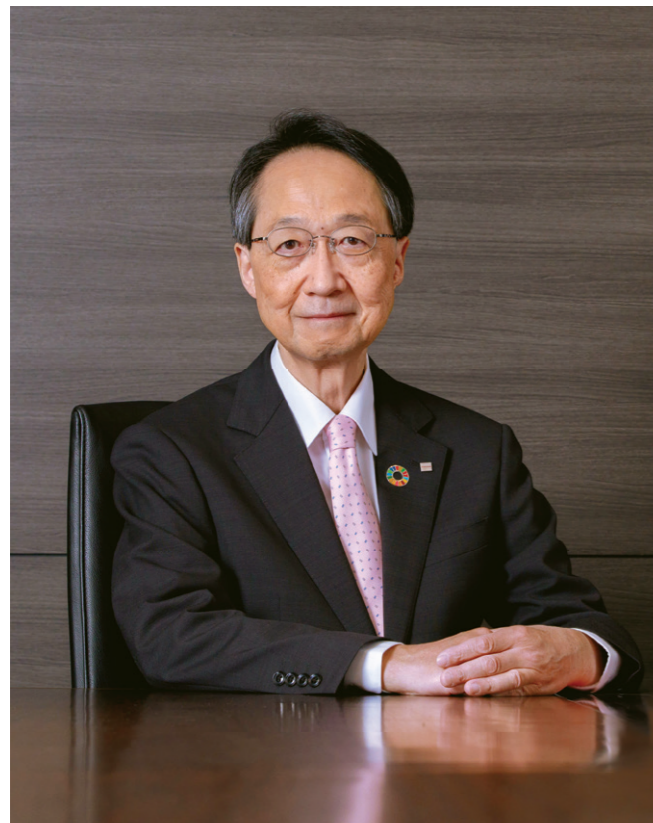


会社案内 2024

RICOH
imagine. change.





個人の働きがいと、企業の成長を両立させることは、持続可能な経済そして社会の発展に必要な不可欠です。

これまでの事業活動で、常にお客様の“はたらく”に寄り添ってきた私たちは、長期ビジョンとして掲げてきた「はたらく”に歓びを」を、新たにリコーウェイの「使命と目指す姿」として据えました。

リコーグループがお客様に提供する価値は、デジタルの力で、はたらく人と人を、そしてワークプレイスとワークプレイスをつなぐこと。そのことでワークフロー全体を変革することです。

お客様接点を大切にするリコーらしいデジタルサービスで、はたらく人の創造力の発揮を支援してまいります。

代表取締役 社長執行役員・CEO
大山 晃

リコーウェイは、リコーグループの日々の判断や活動の基礎となる普遍的な理念です。

創業の精神

三愛精神 創業者 市村 清

「人を愛し 国を愛し 勤めを愛す」

使命と目指す姿

“はたらく”に歓びを

“はたらく”に寄り添い変革を起こしつづけることで、人ならではの創造力の発揮を支え、持続可能な未来の社会をつくります。

価値観

CUSTOMER-CENTRIC

お客様の立場で考え、行動する

PASSION

何事も前向きに、情熱を持って取り組む

GEMBA

現場・現物・現実から学び改善する

INNOVATION

制約を設けず、柔軟に発想し、価値を生み出す

TEAMWORK

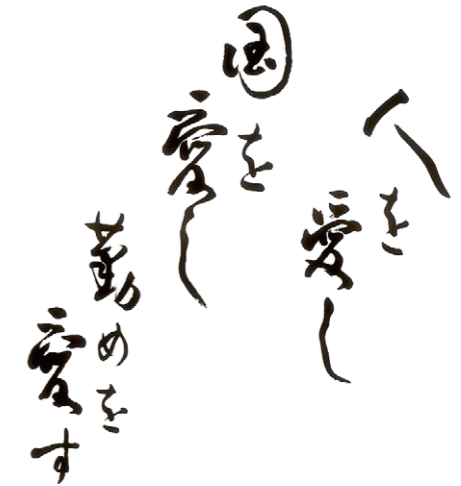
お互いを認め合い、すべての人と共創する

WINNING SPIRIT

失敗をおそれず、まずチャレンジし、成功を勝ち取る

ETHICS AND INTEGRITY

誠実に、正直に、責任を持って行動する



「三愛精神」は、1946年にリコーの創業者、市村清が提唱したもので、リコーでは創業の精神と位置づけています。これは、事業・仕事を通じて、自分、家族、顧客、関係者、社会のすべてを豊かにすることを目指した考えで、リコーグループの全社員が、経営や仕事を行ううえで原点となるものです。

“はたらく”に寄り添い続けるリコー

1936年
創業

感光紙の
製造・販売

1950年代～

事務機分野進出

1955年、国内初の卓上型ジアゾ湿式複写機「リコピー101」を発売し、事務機器分野に進出。事務作業の合理化に革命をもたらしました。



文書の複製を自動化

1970年代～

OAの提唱

1973年、世界初の事務用高速ファクシミリ「リファクス600S」を発売。1977年には、OA（オフィスオートメーション）を提唱。

「機械にできることは機械に任せ、人はより創造的な仕事をする」ことを目指す考えは現在にも通じています。



遠隔地に文書を高速伝送

1990年代～

デジタル化・グローバル化

アナログ複写機からデジタル複合機へ移行。ネットワーク化・カラー化を推進しました。



カラーでの複写・印刷を可能に

2000年代～

サービス事業の拡大

ITサービスや各種デバイスの提供により、ワークスタイル変革を支援しました。



ハイブリッドワークを支援

2020年代～

デジタルサービスの会社へ

2020年、リコーは はたらく人の生み出す力（創造力）を支える「デジタルサービスの会社」へと変革することを宣言。

業界随一の販売・サポート体制でお客様に寄り添いながら、自社およびパートナー企業のデバイスやアプリケーション・サービスを組み合わせ、お客様の“はたらく”を変革します。



現場の業務をデジタル化

“はたらく”に
歓びを

世の中の働き方の変化

➤「手書き」から「ワードプロセッサ」へ

➤業務用ファクシミリの普及

➤PCが一人一台へ

➤カラーコンテンツが増加

➤インターネット利用が拡大

➤通信高速化・大容量化

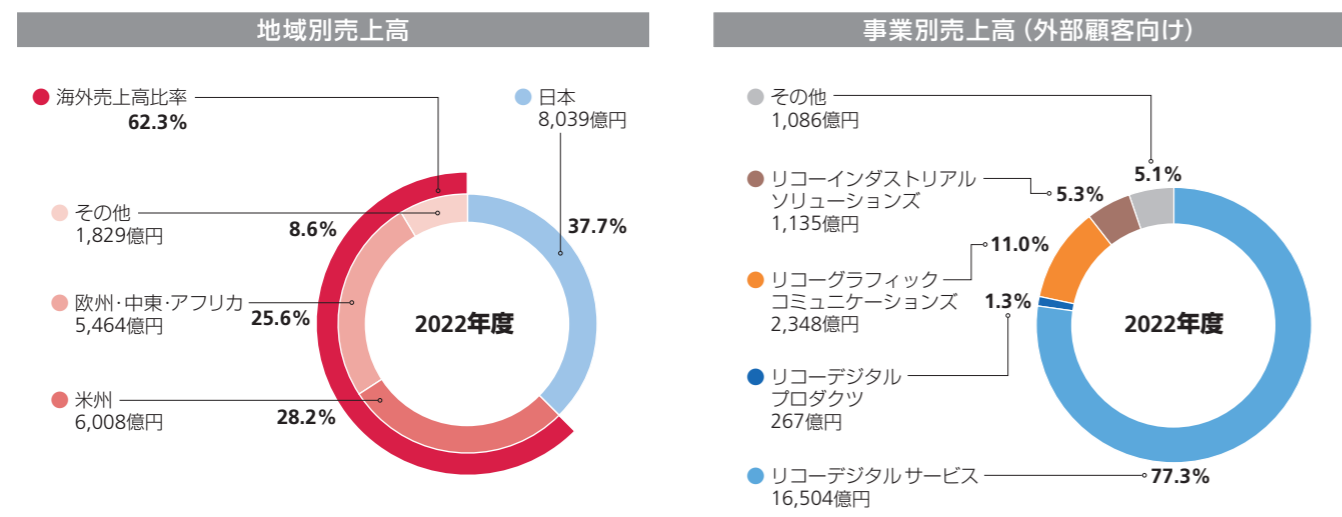
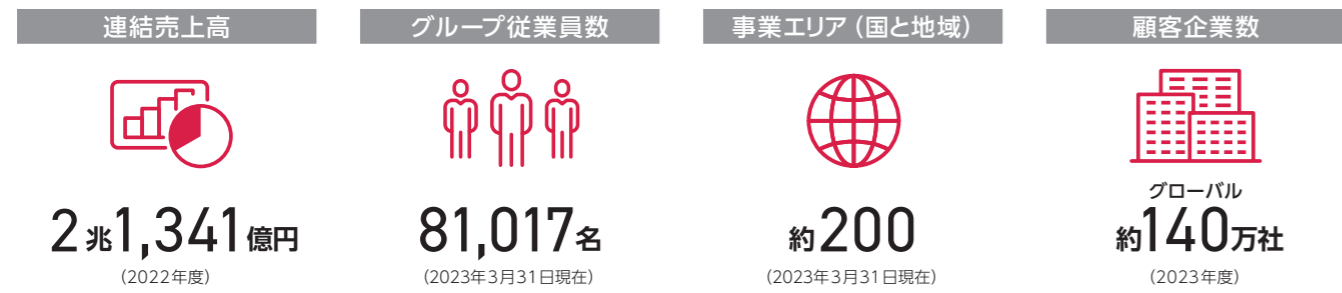
➤ペーパーレス化が進展

➤リモートワークの普及

➤DXの加速

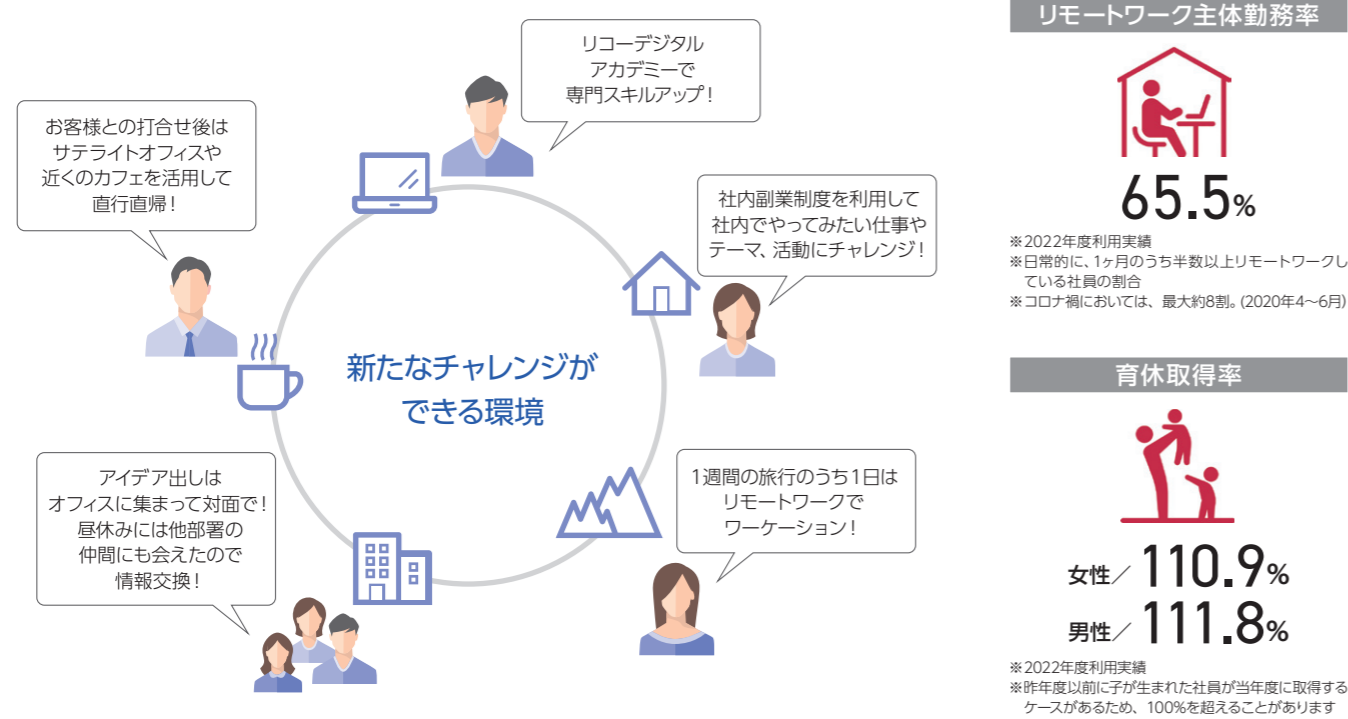
➤AI活用が拡大

数字で見るリコー



自律型人材を支える制度やプログラム

リコーは「はたらく」に歓びを」の実現に向けて、社員一人ひとりが主役となる、自律的なスキルアップと成長を支援しています。デジタルサービスの創出に貢献する人材を育成する「リコーデジタルアカデミー」や、やってみたい仕事に取り組む社内副業、新規事業創出に挑戦するアクセラレータープログラムも広く活用されています。また、個人や組織の単位でリモート勤務と出社を組み合わせるハイブリッドワークなど柔軟な働き方も促進し、新たなチャレンジができる環境づくりを進めています。



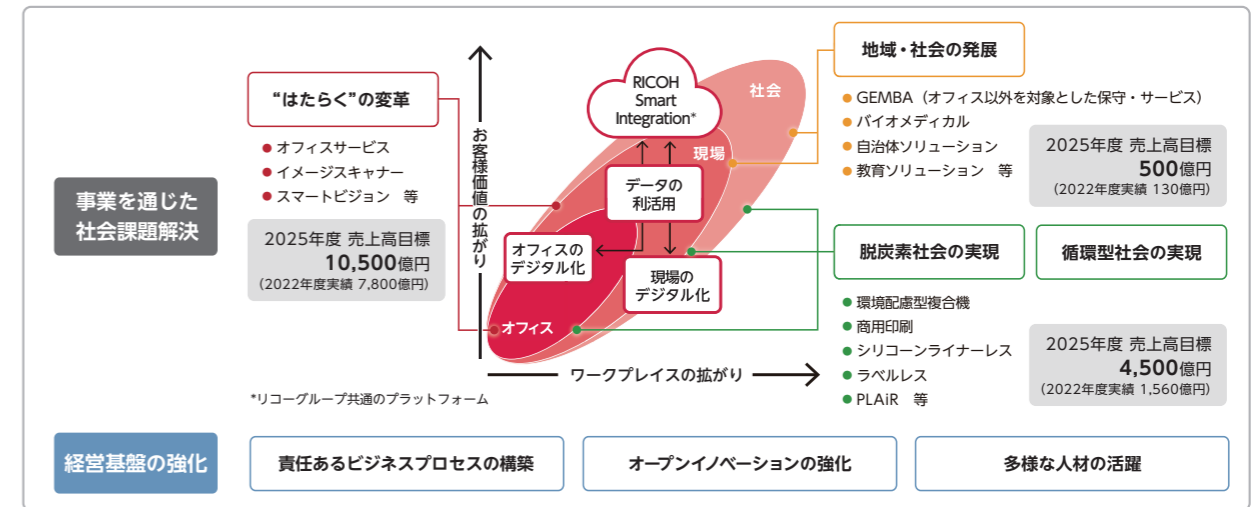
事業を通じた社会課題の解決

リコーは、1998年に世界に先駆けて「環境経営」を提唱し、「環境保全と利益創出の同時実現」に取り組んできました。現在では「ESGと事業成長の同軸化」の考え方のもと、事業を通じた社会課題解決を進めています。

7つの重要社会課題を特定

持続可能な社会の実現に向け、リコーグループでは7つの重要社会課題(マテリアリティ)を特定しています。「事業を通じた社会課題解決」として「はたらく」の変革「地域・社会の発展」「脱炭素社会の実現」「循環型社会の実現」の4つと、それを支える「経営基盤の強化」の3つで構成しています。

重要社会課題は、オフィスや現場、社会といったワークプレイスにおける課題とつながっています。こうした課題解決を一つひとつ積み重ねることで社会課題の解決と事業成長を同時に実現します。



事例

“はたらく”の変革

デジタルサービスの提供によるお客様の生産性向上や創造性の発揮の支援などにより、お客様の“はたらく”の変革に貢献。業種業務ごとに中小企業のお客様の課題解決をサポートするソリューションとして、「スクラムパッケージ」を提供



社会課題解決への貢献

- デジタルの力で中小企業のDXを支え、“はたらく”の変革に貢献
- 2022年度は日本国内で合計82,177件導入、計5,325万時間の創出に貢献
- リモートワーク活用での移動減により温室効果ガス排出量削減にも貢献

事業成長への貢献

- スクラムパッケージの継続伸長により、利益率の高いストック収益の積み上げを加速
- 1顧客あたりの導入本数も増加し、年間売上500億円規模に成長(2022年度)

同軸化

脱炭素社会・循環型社会の実現

包装資材に直接印字できるラベルレスサーマル技術を開発。お客様の製品・ビジネスモデルのサーキュラーエコノミーへの対応を支援



社会課題解決への貢献

- 環境負荷削減(感熱紙ラベル比でカーボンフットプリント80%以上削減)
- デッドストック削減
- 生産性向上

事業成長への貢献

- 2022年より大手コンビニ2社へ採用
- 他業種や海外への展開も視野に(2025年売上高目標100億円)

同軸化

ビジネスユニット別事業概要

リコーグループは、OAメーカーからデジタルサービスの会社への変革を進めています。社内カンパニー制を導入し、5つのビジネスユニットが自律的に事業運営を行うことにより、それぞれの市場で起こる変化に迅速に対応するとともに、事業を通じた社会課題解決に取り組んでいます。

リコーデジタルサービス

事業内容 全世界に広がる顧客基盤をベースに、世界トップクラスのシェアを有するオフィス向け複合機・プリンターなどの画像機器および消耗品の販売をはじめ、お客様のワークフロー全体の変革や働き方改革を支援するIT関連ソリューション、さまざまな経営課題や生産性向上をデジタルで解決するサービスを提供

スクラムパッケージ

複合機や360度カメラなど独自のデバイスやソフトウェア、クラウドサービスなどを組み合わせた、中小企業向け業種業務パッケージによるDX支援

RICOH Spaces

オフィスの会議室、デスク、オープンエリアを含むスペースの予約ができるクラウド・アプリケーション



スクラムパッケージ9業種3業務



リコーデジタルプロダクツ

事業内容 世界トップクラスのシェアを有するオフィス向け複合機をはじめ、プリンターなどの画像機器、さらにデジタルによるコミュニケーションを支えるエッジデバイスを開発・生産 (OEM含む)

A3カラー複合機

業界最高水準の50%以上のプラスチック回収材を使用し、環境負荷低減に貢献

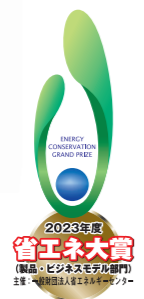
RICOH IM C6010/C5510/C4510/
C3510/C3010/C2510/C2010

再生プラスチック使用率約50%*

*重量比で製品本体の総樹脂量の約50%に再生プラスチック素材を使用 (当社調べ)



「省エネ大賞」において、製品・ビジネスモデル部門 省エネルギーセンター会長賞を受賞



インタラクティブホワイトボード

オフィスや教育現場などで効率的なコミュニケーションやコラボレーションを促進



リコーグラフィックコミュニケーションズ

事業内容 商用印刷事業

印刷業のお客様向けにデジタル印刷関連製品、印刷現場におけるワークフロー、マーケティング活動のサポートなどのソリューション・サービスを提供

産業印刷事業

建材・家具・壁紙・サインディスプレイ・服飾品生地など、多種多様な印刷を可能とする産業用インクジェットヘッド・インクジェット用インク・プリンターなどを製造・販売

商用印刷

オフセット印刷からデジタル印刷への転換により印刷業務のDXを進め、カーボンフットプリントも削減



産業用インクジェットヘッド

高品質で信頼性の高いヘッドを幅広いラインアップで提供



リコーインダストリアルソリューションズ

事業内容 サーマル事業

食品用のPOSラベル・バーコードラベル・配送ラベルなどに利用されているサーマルペーパー・衣料品の値札・ブランドタグ・チケットなどに使われる熱転写リボンを製造・販売

産業プロダクツ事業

光学技術や画像処理技術を活かし、製品・ソリューションを提供

ラベルレスサーマル

サラダパッケージの包装材料などへの直接印刷技術によりフィルムごみの削減に貢献



車両塗装ラインビルダー

リコー独自のインクジェット技術を活用し、車両塗装工程の変革に貢献



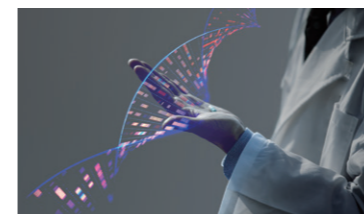
リコーフューチャーズ

事業内容 新規事業

Smart Vision事業、PLAiR事業、ヘルスケア事業、社会インフラ事業、環境技術や環境事業の創出など、新たな事業機会の拡大

創業支援

iPS細胞の高速分化誘導技術やmRNAの設計・製造技術をコアとした創業支援



インクジェット印刷技術を活用したリチウムイオン電池の製造技術



RICOH360

あらゆる空間を360度デジタル化し、ビジネスを効率化



社会に対するコミットメント

ステートメントやガイドラインへの賛同・参画などを通して、持続可能な社会の実現に向け積極的に取り組んでいます。

WE SUPPORT



国連グローバル・コンパクト (UNGC)
2002年4月 国連グローバルコンパクトに
日本企業として2番目に署名

RE100

CLIMATE GROUP



RE100
2017年4月 国際的なイニシアチブである
「RE100」に日本企業として初めて参加

ESGインデックス組み入れ・評価

リコーグループは、ESG (環境・社会・ガバナンス) への取り組みに対し、社外から評価され、国内外のESGインデックスの組み入れ銘柄として採用されています。

2023年7月、GPIF (年金積立金管理運用独立行政法人) が採用する6つのESG指数 (国内株式) すべてに選定されました。

Member of

Dow Jones
Sustainability Indices

Powered by the S&P Global CSA



FTSE4Good



FTSE Blossom
Japan



FTSE Blossom
Japan Sector
Relative Index



Japan ex-REIT Gender Diversity
Tilt Index

TOP CONSTITUENT 2023

2023 CONSTITUENT MSCIジャパン
ESGセレクト・リーダーズ指数



2023 CONSTITUENT MSCI日本株
女性活躍指数 (WIN)

株式会社リコーのMSCI ESG Research LLCまたはその関連会社 (MSCI) のデータの使用や、MSCIのロゴ、商標、サービスマークやインデックス名の使用は、MSCIによる株式会社リコーのスポンサー、支持、販売促進を行うものではありません。MSCIのサービスとデータは、MSCIまたはその情報プロバイダーの資産であり、現状を提示するものであり、保証するものではありません。MSCIの名称とロゴは、MSCIの商標またはトレードマークです。

表彰・認定

国内外で数々の評価・表彰をいただいています。



- TIME誌が選ぶ「World's Best Companies of 2023」に選出

リコーについてはこちら jp.ricoh.com/about/



採用ページはこちら jp.ricoh.com/jobs/

